

## 事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（たん水防除事業）																										
地区名	おぎわら 荻原地区																										
事業箇所	西尾市 <small>きらちようおぎわら</small> 吉良町荻原																										
事業のあらまし	<p>本地区は、西尾市の中央部に位置し、愛知県の中央を流れる矢崎川<small>やさきがわ</small>中流部の右岸に位置する流域面積 273.6ha の排水を担う農業用排水機場を改修するものである。地区内の排水は、通常は矢崎川へ自然排水されるが、洪水時は矢崎川の水位が上昇し自然排水が不可能となるため、荻原排水機場及び荻原第2排水機場により矢崎川へ強制排水している。</p> <p>荻原排水機場は、1971年～1980年にかけて実施した県営たん水防除事業により設置され、老朽化に伴う排水能力の低下や近年の都市化の進展による降雨流出量の増加により排水状況は著しく悪化し、再び湛水被害が生じる恐れが高まっている。</p> <p>このため、排水能力が低下した既設排水機場を改修し、湛水被害を未然に防止することにより、農業経営及び県民生活の安定を図ることを目的として、2012年からたん水防除事業を実施し、2020年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>機能低下した既設排水機場を改修し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止することにより、地域住民の安全・安心を確保するとともに、農業経営の安定を図る。</p> <p>（計画基準雨量 296mm/3日、1/20年確率雨量）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	11.8億円		■工事費 11.1億円、■用補費 0.2億円、■その他 0.5億円																								
事業期間	採択年度	2012年度	着工年度	2013年度	完成年度	2020年度																					
事業内容	排水機場 1か所																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了後、2023年6月1日～6月3日に最大3日連続降雨量 275.0mm（最大1時間雨量 36.0mm）を観測したが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 <span style="float:right;">（一色観測所降雨データ）</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続降雨量</td> <td>296.0mm</td> <td>231.5mm</td> <td>196.0mm</td> <td>157.0mm</td> <td>275.0mm</td> <td>131.5mm</td> </tr> <tr> <td>（最大1時間降雨量）</td> <td>（68.3mm）</td> <td>（49.5mm）</td> <td>（42.5mm）</td> <td>（46.0mm）</td> <td>（36.0mm）</td> <td>（42.0mm）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>計画基準（296mm/3日）に近い雨量を2023年に観測したが（275mm/3日）、湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	2020	2021	2022	2023	2024	最大3日連続降雨量	296.0mm	231.5mm	196.0mm	157.0mm	275.0mm	131.5mm	（最大1時間降雨量）	（68.3mm）	（49.5mm）	（42.5mm）	（46.0mm）	（36.0mm）	（42.0mm）
	区分	計画	2020	2021	2022	2023	2024																				
最大3日連続降雨量	296.0mm	231.5mm	196.0mm	157.0mm	275.0mm	131.5mm																					
（最大1時間降雨量）	（68.3mm）	（49.5mm）	（42.5mm）	（46.0mm）	（36.0mm）	（42.0mm）																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																										

②事業効果の発現状況

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

項目		事前評価時 (2012)	実績 (2020)	備考
事業期間		2012～2018 (7年間)	2012～2020 (9年間)	
事業費 (億円)	工事費	10.0	11.1	
	用地補償費	0.3	0.2	
	その他	0.7	0.5	
	合計	11.0	11.8	0.8億円増
効果の 算定要因	流域面積	273.6 ha	273.6 ha	増減なし
	農地面積	130.1 ha	128.5 ha	1.6ha減
	宅地等面積	143.5 ha	145.1 ha	1.6ha増

【事業期間に対する評価】

事業採択時(2012)より事業期間を2年延長したが、既存の排水機場を活用しながら工事を進めたため、湛水被害等は発生しておらず、期間延長による影響はなかった。

【事業費に対する評価】

工法の変更見直し及び消費税の税率変更等により、採択時(2012)より事業費が0.8億円増で事業完了した。

【効果の算定要因に対する評価】

事業採択時(2012)と比較して、流域面積の増減はなく、農地面積は微減している。排水機場の整備により湛水被害が防止されており、効果については、計画どおり発現していると評価できる。

③事業実施による環境の変化

施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用し、河川、既設の排水路、遊水池に生息する魚類が、工事施工箇所に入らないように注意して施工することにより、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はほとんどない。

III 対応方針(案)

今後の事後評価の必要性

主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。

改善措置の必要性

主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。

同種事業に反映すべき事項

工事中においても湛水被害防止に配慮するため、更新整備を行う場合は、既設機場を活かしながら施工するなどの対応が必要であった。今後同種事業においても、湛水被害防止に配慮し、こうした対応をすることが重要である。

IV 事業評価監視委員会の意見

荻原地区の対応方針(案)[改善措置等必要なし]を了承する。

V 対応方針

改善措置等必要なし